



令和4年9月5日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第22号

精密測定で社会に貢献する ～(株)ミットヨによる「ものづくり」体験事業～

8月26日（金）、呉市教育委員会の事業である令和4年度「ものづくり」体験事業を行いました。「ものづくり」体験事業は、「ものづくり」に慣れ親しんだことが少ない子供たちに「ものづくり」の楽しさや素晴らしさを伝えることで、自由な発想や創造力を育むとともに、社会に役立つものをつくることの大切さを実感させることを目的としています。

本校は(株)ミットヨに依頼し、1年生を対象に出前授業をしていただきました。ご存じのように、(株)ミットヨは、精密に計測できる様々な計測機器や測定機器などを製造されており、精密測定技術の練磨・革新を続け、世界の産業や技術の進展に貢献されている企業です。今回は、総務部総務課長 和田 康彦 様，総務部安全環境 橋詰 悠子 様を講師にお迎えしました。

まず、和田様から、(株)ミットヨがどのような仕事をして、社会に貢献しているのかを紹介していただきました。その中で、様々な計測機器や測定機器なども紹介されながら、精密に測定することは技術の発展に大きく寄与していることも説明されました。そして、実際の体験として、ノギスとマイクロメータを使って様々なサンプルを精密に計測しました。デジタル式のノギスとマイクロメータの数値は読み取れますが、アナログ式ではなかなか数値を読み取ることは難しい様子でした。また、1mmの1000分の1の長さをマイクロメートル（記号は「 μm 」）と言いますが、なかなか計測した数値の実感がわからない様子も見られました。しかし、コピー用紙の厚さや自分の髪の毛の太さなども計測していくうちに、精密に計測することへの関心が高まっていきました。また、体験をしていくうちに、(株)ミットヨの技術が素晴らしいことを実感し、世界の「ものづくり」を支えていることを理解することができました。

和田様、橋詰様には、大変熱心・丁寧にご指導していただき、「ものづくり」の楽しさや素晴らしさを感じることができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

Mitutoyo



生徒の感想から

- 僕はミリより小さい長さ（単位）はないと思っていました。ですが、ミリより小さな長さはあり、測り方も違いました。初めての経験でしたが、とても楽しかったです。
- 物をつくる時の道具がよく分かったし、測定する道具の使い方が分かりました。そして、細かく測れる道具がすごいなと思いました。
- ものづくり体験をして、ものを測る楽しさを学んだし、ミットヨさんで少し働いてみたいと感じました。
- 紙やシャープペンシルの芯など、普段測ることのない物の厚さを知ることができて楽しかった。
- ミットヨさんは、細かい厚さや長さを測る道具を分かりやすく説明してくださって、とても楽しかったです。
- めったに使えない道具を使えたのが、うれしかった。ミリより小さな数（単位）があったのは知っていたけど、測り方は分からなかったので、今回はそれを知れた。測るのは難しかったが、それを測れるのはすごいと思った。
- 初めて見る物や触る物があったけど、名前やどんな形の物なのかを知ることができました。マイクロメータは手で測るのや電子式の2種類ありました。使い方が理解できると、細かい物や小さな物までしっかり測れるので楽しかったです。

